

コスモ松山石油(株)

所在地:愛媛県松山市大可賀3-580

従業員数:102名 事業内容:燃料油、石油製品、

操業開始年月:1944年2月 面積:532,879m²

石油系溶剤、液化ガスの製造・販売 (2003年3月末)

法規制物質

大気関係	物質	規制法令	規制内容	規制値	実績	
					最大	平均
	NOx(m ³ /時)				16.18	12.47
	SOx(m ³ /時)	公害防止協定	総量規制	208	68.30	46.44
	ばいじん(ボイラー)(g/m ³)	公害防止協定	濃度規制	0.17	0.05	0.04

水質関係	物質	規制法令	規制内容	規制値	実績	
					最大	平均
	COD(kg/日)	注1	総量規制	363.3	66.7	6.6
	COD(mg/L)	県条例	濃度規制	1(10)	5.1	3
	SS(mg/L)	県条例	濃度規制	20	5	3
	油分(mg/L)	県条例	濃度規制	2	定量下限未滿	
	窒素(mg/L)	水質汚濁防止法	濃度規制	12(60)	0.89	0.53
	リン(mg/L)	水質汚濁防止法	濃度規制	1(8)	0.17	0.11
	フェノール(mg/L)	県条例	濃度規制	0.3	定量下限未滿	

注1:瀬戸内海環境保全特別措置法

()内は日間平均値

環境パフォーマンス

	使用量・排出量
エネルギー	55,574 (kL-原油/年)
CO ₂	145,380 (t-CO ₂ /年)
SOx	965 (t/年)
NOx	193 (t/年)
COD	2.4 (t/年)
産業廃棄物発生量	649 (t/年)
産業廃棄物再資源化量	517 (t/年)
産業廃棄物最終処分量	42 (t/年)

PRTR対象物質	排出量・移動量
エチルベンゼン(大気排出)	2,200 (kg/年)
エチレンジクロロ(大気排出)	33 (kg/年)
キシレン(大気排出)	11,000 (kg/年)
キシレン(水域排出)	0.5 (kg/年)
1,2-ジクロロエタン(大気排出)	5,600 (kg/年)
1,3,5-トリメチルベンゼン(大気排出)	290 (kg/年)
1,3,5-トリメチルベンゼン(水域排出)	1.6 (kg/年)
トルエン(大気排出)	20,000 (kg/年)
トルエン(移動量)	0.1 (kg/年)
フェノール(大気排出)	68 (kg/年)
フェノール(水域排出)	2.5 (kg/年)
ベンゼン(大気排出)	4,600 (kg/年)
ベンゼン(移動量)	0.6 (kg/年)
ダイオキシン類(大気排出)	0.06(mg-TEQ/年)
ダイオキシン類(水域排出)	1.0 (mg-TEQ/年)
ダイオキシン類(移動量)	0.32(mg-TEQ/年)

環境会計

項目	環境保全コスト(単位:百万円)	
	投資額	費用額
1 事業エリア内コスト	0	79
公害防止コスト	0	72
地球環境保全コスト	0	0
資源循環コスト	0	7
2 上・下流コスト	10	475
グリーン購入によるコスト	0	0
製品の環境負荷低減コスト	10	475
製品の低硫黄化	0	0
ガソリン	0	0
ナフサ	0	0
ジェット燃料	0	0
灯油	0	0
軽油	0	0
A重油	0	0
C重油	0	0
LPG	0	0
ガソリンの有害物質代替	2	359
石油化学製品の脱芳香族化	8	116
3 管理活動コスト	0	40
4 研究開発コスト	0	0
5 社会活動コスト	0	0
合計	10	594

再生紙の購入費 (百万円)

項目	環境保全効果	
	環境負荷削減(前年度・当年度) 負荷量	
1 事業エリア内の効果		
事業活動に投入する資源に関する効果		
エネルギーの投入	59 (千t)	
水の投入	721	
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果		
大気への排出	(千t-CO ₂)	
CO ₂	6	
SOx	16	
NOx	6	
ベンゼン	3.5	
水域への排出	(t)	
COD	0.0	
廃棄物の排出	(t)	
産業廃棄物発生量	333	
産業廃棄物再資源化量	402	
産業廃棄物最終処分量	54	
2 上・下流の効果		
製品の環境負荷低減効果		
製品の低硫黄化	(潜在SOx量:t)	
ハイオクガソリン	0	
レギュラーガソリン	1	
ナフサ	6	
ジェット燃料	36	
灯油	3	
軽油	1	
A重油	22	
C重油	0	
LPG	0	
合計	24	
ガソリンの低ベンゼン化	71	
石油化学製品の芳香族分低減	184	
製品使用時のCO ₂ 排出量	135	